

領域	専門分野 I	授業科目	基礎看護技術 I - 1	単位 (授業時間/時間数)	1 (28/30)
開講年次	1 年次	開講時期	通年	授業回数	14 回
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	
特記事項	実務経験のある教員による科目			臨床 (病院) での看護師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう	

授業のねらい

看護技術を習得する目的は、看護を必要とする人に適切な看護が提供できるようになるためである。そのため、知識習得・技術習得に向けての日々絶え間ない努力が必要である。また、看護は、対象となる人の状態を観察によって正確に理解することから始まる。その意味で、看護の全過程においてコミュニケーション能力・観察技術は欠かせない手段であり、そのために必要な知識・技術を習得する。さらに、看護師は健康を維持、回復するための役割を担っている。そのために必要な学習支援の実際を学びセルフマネジメント能力へとつなげる。

授業目標

1. 看護技術とは何か、看護技術の基本・特徴、その範囲について説明できるとともに、看護技術の発展と修得のために自己研鑽に励む必要性を理解する。
2. 看護におけるコミュニケーションの意義・目的について理解し、効果的なコミュニケーション方法を理解する。
3. 生命の徴候であるバイタルサインの基礎的知識・技術を習得する。
4. 全身状態を系統的に把握するためのフィジカルアセスメントの基礎的知識を習得する。
5. 看護における学習支援の目的・意義を理解し、学習支援の実際について理解する。

授業概要

1. 看護技術を学ぶにあたって
2. 看護におけるコミュニケーション
3. フィジカルアセスメントー視診・触診・聴診・打診ー
4. バイタルサインの観察とアセスメント
5. 学習支援

*看護技術チェックを行う (詳細は授業にて説明する)

授業の進め方

講義、演習

教科書

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学 [2] 基礎看護技術 I (医学書院)
 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学 [3] 基礎看護技術 II (医学書院)

参考図書

フィジカルアセスメントがみえる (メディックメディア)

評価方法

客観式テスト (100 点)
 試験時間は時間数に含む。